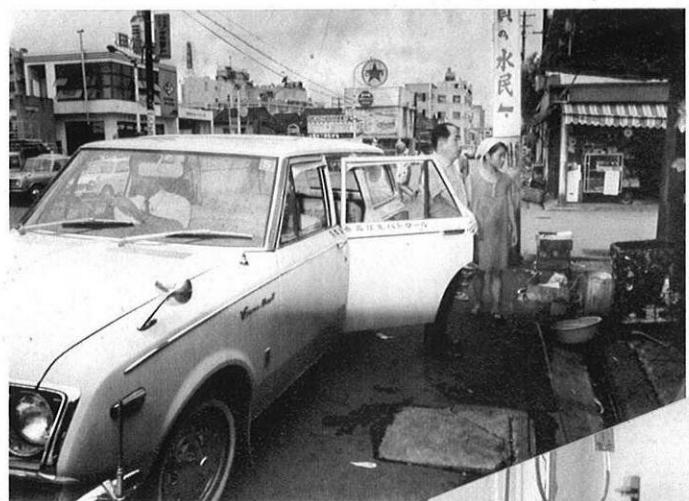


活躍する 「食品衛生監視員」

現在、県の食品衛生監視員(専任)は25人。各保健所などに配置されて食品衛生の目付役として活動。春のみやげ品の検査、夏の不良食品の監視、年末年始食品取締り……と年中結構忙がしい。

本号では、特に夏の食品監視ぶりを紹介することにした。

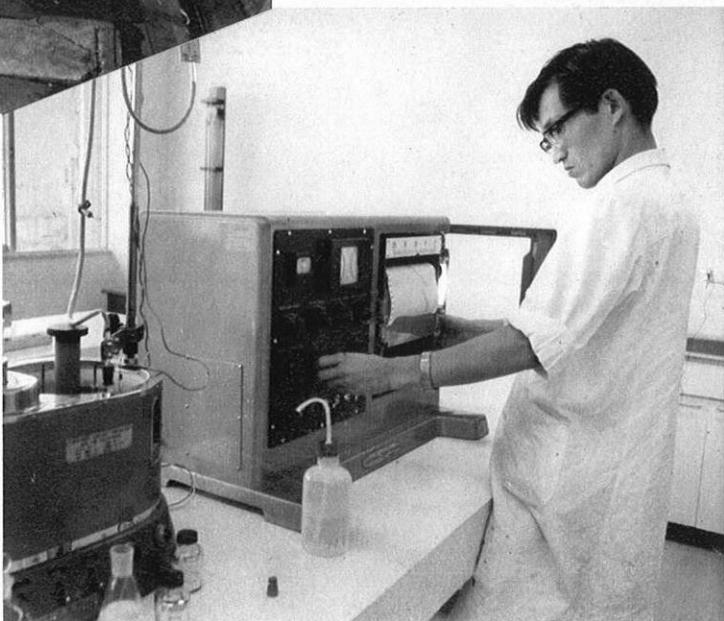


▲食品衛生監視車で、突然食品の検査をすることもある。

▼県衛生研究所では持ち込まれた食品の検査(防腐剤・サッカリンなどの定性定量などをかる)を行なっている。

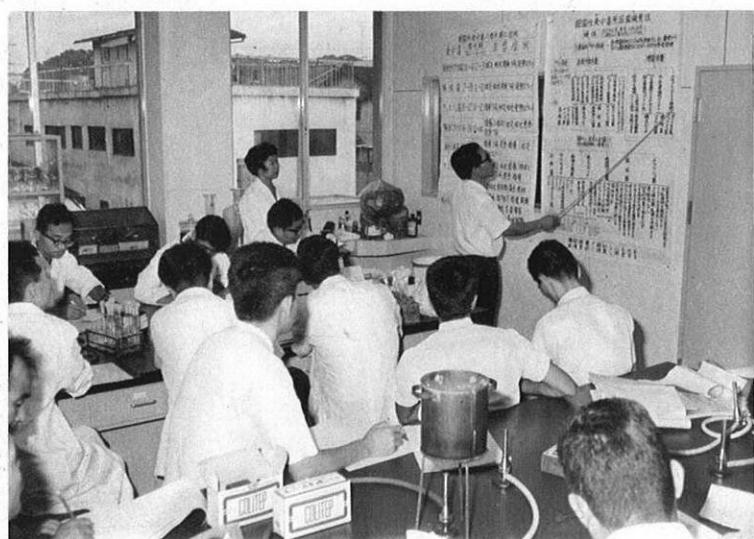


▲市販されている牛乳の成分の分析や検査も行なっている。(県衛生研究所にて)

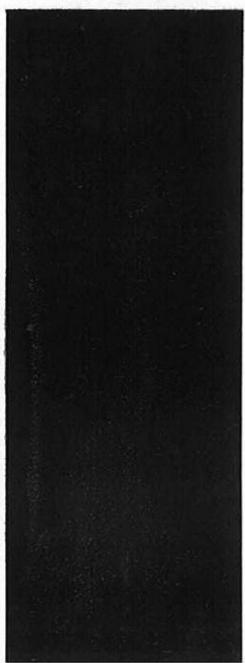


▲鮮魚店の店先で…
ショウケースの中の温度はどうか…
魚の鮮度はよいか… 流しと調理場はキレイに整備されているか。

▼駅弁当をつくつくる店の調理場で…
容器の手入れはどうか…



◀食品衛生監視員のための実技研修も随時ひかれている(県衛生研究所にて)



▼清涼飲料水の製造工場で…
容器の洗浄はよいか……